

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 7 年 7 月 2 8 日

会 派 改革フォーラム

参 加 者 越川慶一

政務活動先 (目的地)	長崎県大村市、山口県周南市				
開催団体等					
政務活動期間	2025年7月23日から25日				3日間
政務活動項目 (名称等)	① 長崎県大村市：人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略 ② 山口県周南市：中心市街地活性化基本計画、徳山駅前賑わい交流施設				
政務活動参加者	首藤孝治	牧田俊之	松井雅宏	越川慶一	
					計 4 名
全体参加者数	4 名				
政務活動の目的・結果等の概要・所見	大村市は、人口減少時代と言われる中、毎年500名程度の人口が増加となっている街です。 1942年の人口39,572人以降、人口10万人まで、あと548人のところまできており、来年あたりには悲願の人口10万人を達成できるのではないかと期待されています。 この大村市の人口が増加している背景には、長崎空港、高速道路のインターチェンジ、新幹線の新駅が5km圏内に揃うなどの好立地となっていました。 さらに長崎までは30分、佐世保へは1時間という近さでベッドタウンとしても人気が高い街で、これまでの福祉や子育て政策について、継続的に力を入れ、子育て世代の住環境整備が行われてきたことも功を奏したと考えられます。 現在は、苫小牧市と同様に、高校を卒業した若者が市外の大学に進学及び就職する事例があるため、関係人口増加に向けた事業を強化しており、市外に行っても大村市と繋がっていただける環境を目指し取り組んでおられ、本格的な人口減少が進展する苫小牧市としても、大変参考となる視察となりました。				

	周南市は、徳山駅中心市街地の空洞化を解消するため、駅周辺整備事業や駅ビル跡地を活用した「徳山駅前賑わい交流施設整備事業」が検討されました。 パブリックコメントや市民アンケートを実施した結果、ブック&カフェの人气が高く、駅を利用するビジネスパーソンもターゲットにした整備イメージとして、指定管理者をカルチャ・コンビニエンス・クラブ（以下、CCC）に決定し、年間イベント数は約330件で、利用者の満足度も約81%という評価を頂き、各種事業を展開しています。賑わい交流施設の来館者数は、年間約190万人、図書館機能としての貸出冊数は31.8万冊となっています。 今後は、街と駅との連携会議の中で、賑わいを中心市街地全体から市内全域に波及させることを目的、公共サービスを継続的に提供しながら、中心市街地の活性化を図るため、官民連携の事業を展開していくとのことであります。本市も苫小牧駅周辺再整備を進めているところであり、大変参考となる視察となりました。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 1406 751 1612">資料名（会派保管）</td><td data-bbox="751 1406 1452 1612"> ・大村市：「人口ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 ・徳山市：「中心市街地活性化基本計画」「徳山駅前賑わい交流施設整備事業」 </td></tr> </table>	資料名（会派保管）	・大村市：「人口ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 ・徳山市：「中心市街地活性化基本計画」「徳山駅前賑わい交流施設整備事業」
資料名（会派保管）	・大村市：「人口ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 ・徳山市：「中心市街地活性化基本計画」「徳山駅前賑わい交流施設整備事業」		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--